

今回は、5歳児そら組の北の丸公園「徒歩遠足」に、大妻大学教授石井雅幸先生をお迎えしました。一緒に、秋の自然に触れる中で、発見・気付き・疑問などたくさんの探究が生まれました。また、石井先生からも、実物を前に専門的な知識を教えていただき、新たな知識を「学ぶ」面白さも感じる子どもたちでした。



春にも「親子遠足」で行った北の丸公園。春と同じ「吉田茂像」周辺の広場でしたが、秋は草が生い茂り、見られる草花や虫たちも違っていました。違う季節に同じ場所に行くことで「季節」の移り変わりや変化・特色もつことができました。



どんぐりや葉っぱをみつけることも楽しみました♪



歩いている途中「せんせ～見て～！」トンボを捕まえました！



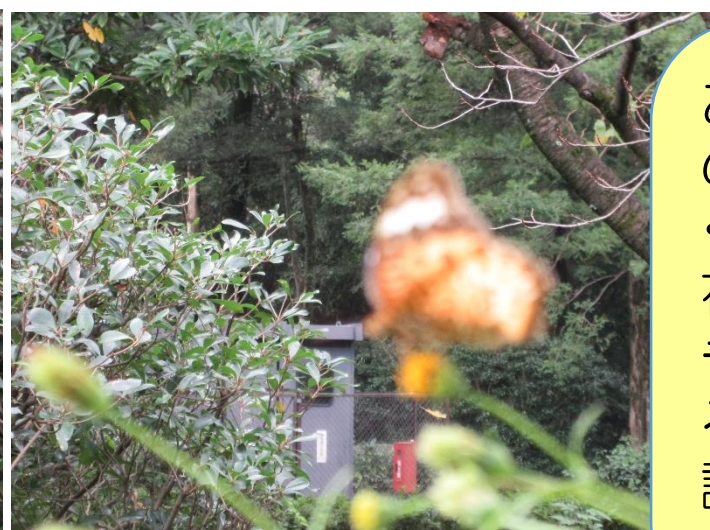


草むらに入ると洋服などにくっつく植物、通称「くっつき虫」が体中についてきました。

よく見ると、くっつく植物でも、チクチクしているものと、痛くないものがあることを発見していました👁👁



探索後は…みんなでくっつき虫を取りました。背中では友達にとってもらうなど、協力体制です。



お日様が出ているときの方がチョウチョがたくさんこと、ハチの花粉玉のこと、シジミチョウが卵を産みに来る葉のことなど、豆知識を実際の物を前に教えてくださいました。



見て見て！友達や教師と発見の喜びを伝え合うことで、楽しさや探究がより深まります。



園庭にもよく遊びに来るカエルも発見☆大きさが、珍しい中くらいの大きさでした。

